

平成 21 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社イトーヨーギョー
代表者名 代表取締役社長 畑 中 浩
(コード番号 5287 大証二部)
問い合わせ先 管理部長 樽 井 賢 治
(T E L 0 6 - 4 7 9 9 - 8 8 5 0)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 6 月 26 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,270	63	60	233	75 円 56 銭
今回修正予想 (B)	1,031	125	135	160	53 円 4 銭
増減額 (B) - (A)	239	62	75	73	-
増減率 (%)	18.8	-	-	31.3	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	991	148	131	130	41 円 94 銭

(2)修正の理由

当第 2 四半期累計期間の当社の関連するコンクリートおよび建設業界は、補正予算による財政出動等景気刺激策が実施されたものの、来年度にかけては不透明な状況におかれています。

そのような中で、当社は、独自性、優位性のある商品により差別化を図っています。

当社においては、道路関連製品「ライン導水ブロック」および環境関連商品を中心に引合いが順調に推移しているものの、工事着工遅れ等により、当第 2 四半期累計期間の売上高が当初計画には到達しなかったことから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、各種収益改善施策に取り組んだ一環として、特に人件費抑制により、販売管理費は対前期で削減したものの、売上高未達を主因に、為替相場の影響、棚卸資産除却損等により、営業利益・経常利益・四半期純利益がそれぞれ前回公表予想を下回る見込みとなりました。

これらにより、当第 2 四半期累計期間の業績予想を修正するものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、引合いが好調という判断により、前回発表数値からの変更は現時点では行ないません。

(注)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上